〔文芸／生き方エッセイ／詩〕

ツバメ出版流通取扱

虹霓社（コウゲイシャ）　新刊のご案内

5月末 刊行予定

放浪の唄
―ある人生記録

高木 護 著
澤宮 優〔解説〕

最後の放浪詩人・高木護の原点
人間賛歌の自伝的エッセイ復刊

本体 2000 円＋税／Ｂ６変形
350 頁／並製

九州一円の野山を放浪しながら、その日暮らしの日雇い仕事。闇市番人、露天商、ドブロク屋、立ちん坊、人夫…。社会の底辺で出会った哀しくも愛すべきニンゲンたちとの交流をユーモラスに描き、高木護の名を世に知らしめた出世作。半世紀ぶりに復刊。

放浪経験から人の在り方を鋭く問うた『人間浮浪考』『人夫考』『野垂れ死考』など数々の優れたエッセイを遺した詩人の原点の書。しあわせなんてそこらにころがっている ― 放浪の末にたどり着いた人間／自然讃歌は、生き方を忘れた私たちへの希望の唄である。

「わたしのような、何の取柄もない男の生き方は、一つしかない。
どんな逆境でも、のんべんだらりと、それなら、それになりきって、
ささやかなたのしみを見つけることだ」
「ニンゲンなんて、おもしろく、おかしく生きるが儲けではないか。」

今、世の中の歯車がとめどなく狂っていると感じるのは私だけではないだろう。〔…〕その原因を見つけるのは簡単ではないが、戦後の歩みが正しかったのか考察するときに、高木が書いた著作を読むことで得られるものは大きい。そのスタートは勿論『放浪の唄』である（澤宮優：本書解説）

著者：高木 護（たかき・まもる）

1927（昭和 2）年、熊本県生まれ。南方戦線でマラリアに罹り九死に一生を得る。復員後は後遺症で定職に就けず、数々の日雇い仕事をしながら九州の野山をひたすら歩く。63 年、高木を特集した週刊雑誌を読んだ読者と結婚し上京、詩人・文筆家の道を歩む。詩集の他、多くの優れたエッセイ集を遺した。自由と反骨の人。2019 年逝去。

【関連書】澤宮 優 著　　**4刷！**
『イラストで見る昭和の消えた仕事図鑑』（角川ソフィア文庫）
＊高木の就いた１２０種類の仕事を元に紹介

▶ご注文はツバメ出版流通　**FAX：03-3721-1922**

mail：info@tsubamebook.com
TEL：03-6715-6121

貴店名（番線印）	虹霓社　**返品条件付注文扱い　返品了解　ツバメ出版流通：川人**	
	冊	**【新 刊】** 放浪の唄 ある人生記録　高木 護　本体 2000 円＋税　ISBN978-4-9909252-4-6　C0095
ご担当：	冊	【既 刊】 杉並区長日記 地方自治の先駆者・新居格〔にい・いたる〕　＊今年 6 月杉並区長選挙！　本体 1600 円＋税　ISBN978-4-9909252-0-8　C0095

虹霓社
静岡県富士宮市猪之頭 806
TEL：080-5011-7928［担当：コヤ］
メール：info@kougeisha.net

つげ義春公認グッズお取引可！
〔お気軽にお問合せください〕
＊トートバッグ、手ぬぐい etc